

■累計発行部数 50万部！ 25年間のロングセラー大図鑑

1983年といえば、任天堂から「ファミリーコンピュータ」が発売されてゲームブームが起こり、夏の甲子園では、桑田真澄投手が、初の1年生優勝投手となったことが話題になった年…。そんな時代から、ずっと同じ体裁、同じ価格で販売し続けてきたのが山と溪谷社を代表する図鑑、山溪カラー名鑑『日本の野草』です。

広く一般の植物愛好家の方はもちろん、専門家にも高い評価を受け、「書棚に必ず置かれる一冊」として、壊れてもテープ等で補強されながら愛用されてきました。

情報の入手方法が、書籍からインターネットに変わった現代でも、写真のクオリティの高さと、情報の信頼性の高さから、使いやすい図鑑として愛用され続けており、これまで25年間で、66刷り、累計50万部が発行されました。



自然観察員の事務所にあった『日本の野草』。表紙が破れ、背が割れるまで、使い込まれている

■日本では1種と考えられてきた「フクジュソウ（福寿草）」は4種に！

日本の植物相については、これまで100年以上に渡って研究が続けられ、5500種以上の高等植物が生息することがわかっています。しかし、研究は今も続き、新種の発表が相次いでいます。

たとえば、正月飾りとしても身近なフクジュソウ(福寿草)は、これまで日本では1種と考えられてきました。ところが研究の結果、キタミフクジュソウ、ミチノクフクジュソウ、シコクフクジュソウの新種が加わり、計4種となりました。

増補改訂新版の『日本の野草』では、このような研究成果を反映させ、1983年の初版以来新たに発見された植物のうち、日本の植物相を特徴づける39種を追加掲載しました。また、植物学的研究の進展に伴い、学名や分布、解説などを約200ヶ所改訂し、新たな写真も加えています。



■背割れを防ぐ製本技術採用で、より永く利用できる一冊に

製本についても新たに見直しを図りました。

大図鑑の特徴として、専門家やヘビーユーザーの方に繰り返し繰り返し利用されるという特徴があり、使用中に背表紙が壊れる「背割れ」という問題が発生していました。

今回の増補改訂新版では、「PUR製本」という新しい製本技術を採用することにより、開きやすく、かつ、開いても背が割れにくい仕上がりとなり、より永くご愛用いただける一冊に進化しています。



■山溪カラー名鑑『日本の野草』について

1983年の初版以来、多くの人から愛され、25年で累計50万部を超えるロングセラーとなっている定番の図鑑。

植物分類学の知見を反映した信頼性の高い解説と、大きくて見やすい写真、圧倒的な掲載種数などの特徴はそのままに、近年発見された新種39種を追加し、最新情報による200ヶ所以上の改訂を行うとともに、背割れを起こしにくい新製本など、永くご愛用いただける保存版の一冊です。

定 価：7,980円（本体7,600円＋税）

体 裁：天地198ミリ×横205ミリ×厚さ37ミリ／736ページ

発売日：2009年10月23日

ISBN978-4-635-09042-1

<http://www.yamakei.co.jp/products/detail.php?id=090420>



増補改訂新版『日本の野草』の特徴がよく分かる特設コーナーを用意しました

<http://special.yamakei.co.jp/yasou/>

■山と溪谷社について <http://www.yamakei.co.jp/>

1930年創業。月刊誌『山と溪谷』を中心に、国内外で山岳・自然科学・アウトドア・旅行・スキー等の分野で出版活動を展開。さらに、自然、ライフスタイルの分野で多くの出版物を展開しています。

